学校番号	１０３

令和２年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２　　（教育芸術社）						
副教材等	プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰの学習で得た基礎力をもとに、更に楽器アンサンブル、リズムアンサンブル等、創造的に取り組んでいきます。
・副教材の Music Navigation は音楽史・楽典・ソルフェージュ等が大変わかりやすく解説されており、この１冊を丁寧に学習することによって、生涯にわたり音楽が心の支え・生きる力となり音楽の世界が広がることを願っています。

２　学習の到達目標

・音楽の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を高め創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。
・知的なものと感覚的なものの調和、困難を乗り越えていく意思と集中力、部分と全体の統一といった人間らしい心を育む感動体験を大切にし、感性に磨きをかける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	集中力、根気、達成感をもって積極的に取り組もうとしている。 曲想、楽曲の背景等に関心を持ち、アイデアやイメージを広げて主体的に取り組もうとしている。	音色、リズム、速度、強弱等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながらどのように表現するか意図を持っている。	アンサンブルにおいて楽器の特性を生かし旋律やリズムの合わせ方を工夫する。又はアレンジを加え音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に取り組んでいる。	音楽史や楽典、ソルフェージュを学習したことによって多面的に楽曲を捉え、音の魅力を感じる感性が育まれている。 自分の言葉で音のニュアンスを語ることが出来る。
評価方法	観察 プレゼンテーション	観察 実技テスト	観察 実技テスト	観察 プレゼンテーション

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	題材	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リズムアンサンブル 楽器アンサンブル	○	○	○		a:グループでアイデアを出し合い主体的に取り組もうとしている。 b:音色、リズム、フレーズ、速度、強弱などを知覚し表現工夫をしている。 c:息の合わせ方，リズム感を身体で感受し、創造的に表している。	観察 実技テスト
	伸びやかに歌おう	【歌唱】 La donna e` mobile A whole new world いつも何度でも	○	○	○		a：曲想と歌詞内容、背景などを感受し主体的に取り組んでいる。 b：リズム、速度、強弱などを知覚し表現工夫をしている。 c：イメージを広げ創造的に表している。	観察 実技テスト
		【音楽史・楽典・鑑賞】						
2学期	ギターを楽しもう	【器楽】 ギターアンサンブル又は独奏	○	○	○		a:美しい音色を追求し主体的に取り組んでいる。 b:フォームや左右の手のバランス等、よく音を聴いて主体的に練習している。 c:新しいコードや奏法に丁寧に取り組んでいる。	観察 実技テスト
	美しいハーモニー	【歌唱】 Amazing grace Ich liebe dich	○	○	○		a:声の広がりを感じて積極的に取り組んでいる。 b：英語やドイツ語の発音に慣れ歌詞内容が伝わる表現工夫を試みている。 c：フレーズを大切に歌い、音楽の流れを感じて創造的に取り組んでいる。	観察 実技テスト
	ハンドベルに挑戦しよう	【器楽】 星に願いを	○	○	○		a：ベルを大切に扱い主体的に取り組んでいる。 b：音の分担を決め、リズムや旋律をよく聴いて創造的に表している。 c：メンバー全員で拍子感を感じ、美しい音の響きを表現している。	観察
		【音楽史・楽典・鑑賞】						プレゼン

3学期	舞台芸術の世界	【鑑賞】 人形浄瑠璃 ミュージカル 【歌唱】 Memory Shall we dance?	○ ○	 ○	 ○	○	a:様々なステージに興味をもって主体的に取り組んでいる。 d:舞台芸術の特質、舞台装置、衣装など歴史・文化を知り創造的に味わって聴いている。 a：曲想、背景を理解して積極的に表現しようとしている。 ｂ：リズム、速度、強弱、声質などを知覚し表現工夫をしている。 c：歌詞内容からイメージを広げ創造的に表している。	観察 観察 実技テスト
	音楽総合力をつけよう	【音楽史･楽典･鑑賞】	○	○	○	○	音楽を楽しむ上での調性の色彩感や音の質感、リズムや音の空間、広がりなど様々な要素を感じ取り、自分の言葉で語ることが出来る。	プレゼン

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力
歌唱、器楽に関してはa,b, ｃの３観点で評価する。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが学習内容、題材の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。